



切り取りパズル式 読解プリント ① 〈文章〉

なまえ

★ つぎの文章を読んで、問題に答えましょう。

① 日本では、地しんや台風、大雨などの災害が、毎年のようにどこかで起こっています。こうした災害は、家や道、橋などをこわすだけでなく、人の命や暮らしに大きなえいきょうをあたえます。そのため、ふだんから災害に備えて準備をしておきましょう。

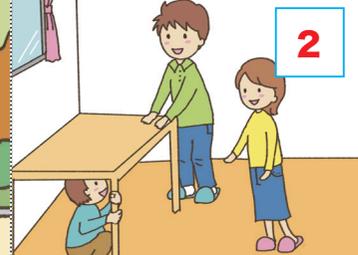
② 家の中の安全な場所を、家族といっしょに確かめましょう。地しんのときには、机の下にもぐったり、たおれてこない家具の近くに身をひそめることが、安全につながります。

③ 家の外で安全な場所を確かめましょう。家の近くのひなん場所を地図で調べ、家族で歩いて行ってみるとよいでしょう。川のそばや山のふもとに住んでいる人は、大雨による増水や、土砂くずれにも注意が必要です。自分の家の周りの地図を調べておきましょう。

④ また、ひなんするときにすぐに持ち出せる「防災ぶくろ」を用意しておくことも大切です。その中に、水や食べ物、軍手、かい中電灯、電池などを入れておきましょう。特に水は、一人につき一日3リットルは必要だといわれています。

⑤ さらに、学校で行う防災訓練も、とても大切です。もし学校にいるときに大きな災害が起こっても、防災訓練で学んだようにひなんをすれば、命を守ることができるのです。

⑥ このように、大切な命を守るために、日ごろから災害に備えて準備や訓練をしておくことが大切です。





切り取りパズル式 読解プリント② 〈文章〉

なまえ

★ つぎの文章を読んで、問題に答えましょう。

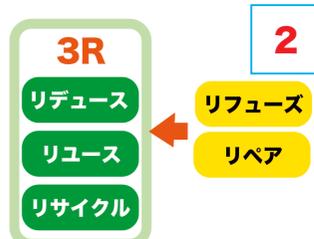
1 「5R」という言葉を聞いたことがありますか。5Rは、ごみを減らすために私たちができる行動を示す五つの言葉です。「リデュース(むだをへらす)」、「リユース(くり返し使う)」、「リサイクル(もう一度資源として使う)」、「リフューズ(いらぬものを断る)」、「リペア(こわれたら直す)」という五つの言葉を指します。

2 以前は「3R」といい、「リデュース・リユース・リサイクル」という三つの言葉が使われていました。①、その三つの考え方は不十分なほど環境問題が深刻になり、「リフューズ・リペア」を加えた5Rになりました。

3 それぞれの言葉の、具体的な例を考えてみましょう。「リデュース」は、食べ物を残さず食することや、水や電気をむだづかいしないことなどです。「リユース」は、空きびんを捨てずに花びんなどに使うことや、子ども服やおもちゃを使い回すことなどです。②、「リサイクル」は、空きかんや使い終わった紙などをもう一度使って、新しい原料に再生することです。

4 さらに、新しく加わった「リフューズ」は、お店でいらぬレジ袋を断ることなどです。時計や電化製品などを、修理しながら長く使う「リペア」という考え方も重要です。

5 私たちがこれら五つの行動を心がけると、ごみが減り、地球の環境を守ることにつながります。一人一人の小さな努力が、地球の未来を守る大きな力になるのです。





切り取りパズル式 読解プリント② 〈問題〉

なまえ

★は、指導者向けの解説です。答え合わせのときの指導の参考にしてください。

① 左の絵を、はさみで切り取りましょう。

1. 文章に合う順番にならべかえて、文章の下のわくに置きましょう。

2. 絵の中の□に、文章に合う段落の番号を書きましょう。

★正しい順番を置かせているのを確認してかぎ、子どもたちの順番を貼らせるためにかぎをつけておきましょう。

② 「その三つ」とは何ですか。文の中から三つさがして書きましょう。

リデュース リユース リサイクル

★2段落目に着目しましょう。

③ ア イ に入る言葉の組み合わせを選んで、一つに○をつけましょう。

ア ア イ さらに

ア ア イ でも

○ ア しかし イ また

④ 文章の内容に合っている文に○、合っていない文に×をつけましょう。

× 5 Rは、日本の安全を守る行動を示すために作られた。

○ 3 Rに「リデュース・リペア」という二つの言葉が加わり、5 Rになった。

× 兄からのお下がりの服を断るのは、「リデュース」の行動にあたる。

○ ごみを減らすことが、地球の環境を守ることにつながる。

× 買い物袋を持ち歩くことは、「リペア」の行動にあたる。

⑤ 地球の未来を守るために、どんな行動を心がけることが大切ですか。文章の内容に合うものを一つ選んで、○をつけましょう。

○ 私たちが一人一人が、5 Rを実行する。

★5段落目に「この文章のまとめが書いてあります。」

プラスチックごみを、自分の家の庭にうめる。

ペットボトルをたくさん買って、リサイクルする。



5

リデュース

3



リユース

リサイクル



2

3R

リデュース

リデュース

リユース

リペア

リサイクル

1

リユース

リデュース 5R リサイクル

リデュース

リペア

4

リデュース

リペア





切り取りパズル式読解プリント③〈文章〉

なまえ

★ つぎの文章を読んで、問題に答えましょう。

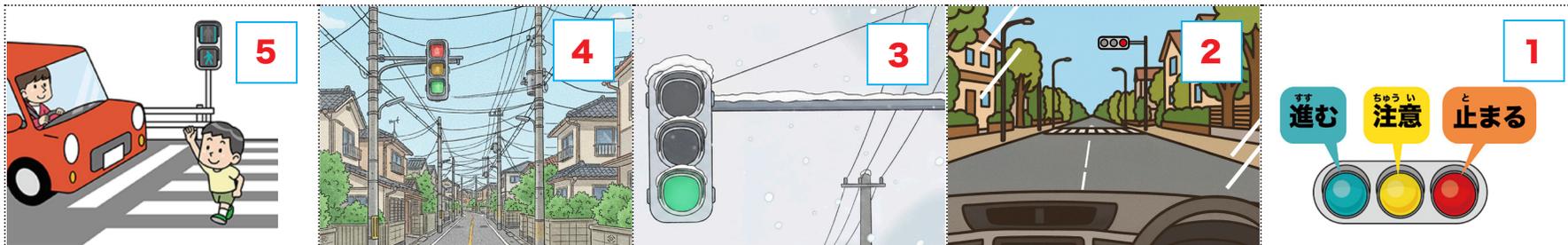
① 私たちが毎日使っている道路には、信号があります。信号は、車や人が安全に道路を通るための大切なしるしです。信号は、青・黄・赤の三つの色で、「進む」「注意」「止まる」をわかりやすく知らせています。これらの信号の意味は、交通ルールの一つとして、人々に知られています。

② 信号の向きにも、大切な工夫があります。車用の信号の多くは、横向きにランプがならんでいます。左から青・黄・赤の順番です。これは、車の運転手が走行中でも見やすいように作られています。道路が広い場所では、横向きの信号のほうが遠くからでも見やすく、安全に止まるタイミングを判断しやすいのです。

③ 一方で、雪が多い地域や風の強い地域では、たて向きの信号が使われていることがあります。たて向きだと、雪が積もりにくく、強風に強いからです。

④ また、道がせまい場所や、電線などが多くて横向きの信号をつけるスペースがないときも、たて向きの信号が選ばれます。ア、信号の向きは、道路の広さや、土地の気候などに合わせて工夫されているのです。

⑤ ①、信号は、色だけではなく、向きも工夫されています。信号以外にも、道路にはさまざまな標識が設置され、交通ルールが決められています。私たちが安全に道路を通れるのは、こうした見えない工夫や交通ルールがあるからなのです。





切り取りパズル式 読解プリント ③ 〈問題〉

なまえ

★は、指導者向けの解説です。答え合わせのときの指導の参考にしてください。

① 左の絵を、はさみで切り取りましょう。

1. 文章に合う順番にならべかえて、文章の下のわくに置きましょう。

2. 絵の中の□に、文章に合う段落の番号を書きましょう。

★正しい順番を置けることを確認してかぎ、子どもたちの平等を貼らせることになりましょう。

② 「これらの信号の意味」とは何ですか。文の中から三つさがして書きましょう。

青： 進む 黄： 注意 赤： 止まる

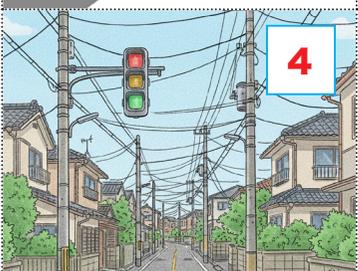
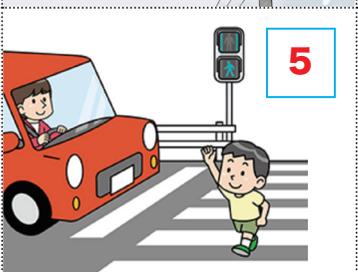
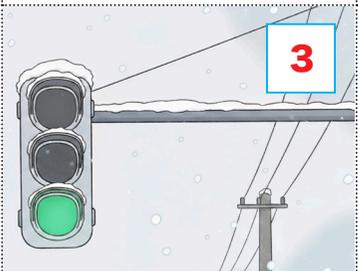
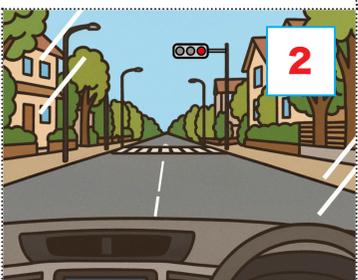
★1段落目に着目しましょう。

③ に入る言葉の組み合わせを選んで、一つに○をつけましょう。

④ 文章の内容に合っている文に○、合っていない文に×をつけましょう。

⑤ 私たちが安全に道路を通れるのはなぜですか。文章の内容に合うものを一つ選んで、○をつけましょう。

★5段落目に、この文章のまとめが書いてあります。





切り取りパズル式 読解プリント④ 〈文章〉

なまえ

★ つぎの文章を読んで、問題に答えましょう。

1 私たちの社会には、小さい子どもやお年寄り、けがをして
いる人、目や耳が不自由な人など、さまざまな人々がいます。
そんな人々も安心して暮らせるように工夫したデザインを、
「ユニバーサルデザイン」といいます。

2 ①、町の中のスロープは、車いすを使っている人や、
ベビーカーをおす人、お年寄りなどが楽に通れるように作ら
れています。駅の大きな文字の案内板や、図や記号で表され
たわかりやすいマークも、この考え方から広まりました。

3 ユニバーサルデザインは、特定の人だけのものではありません。
たとえば、シャンプーのボトルにはぎざぎざがついて
いますが、リンスにはついていません。②、さわるだけ
でシャンプーとリンスを見分けるための工夫です。目が不自由
な人も見分けやすいですし、目が見える人も、目を閉じたま
まシャンプーを探すことができます。

4 また、お風呂や階段には、手すりがついていることが多い
です。これは、体が不自由な人やお年寄りの助けになります。
しかし、体が不自由ではない人も、手すりがあることで転び
にくくなります。

5 このように、ユニバーサルデザインは、だれにとっても
やさしいデザインだといえます。ユニバーサルデザインを
工夫することで、みんなが気持ちよく生活できて、思いやりの
ある社会に近づいていくのです。





切り取りパズル式 読解プリント ④ 〈問題〉

なまえ

★は、指導者向けの解説です。答え合わせのときの指導の参考に使ってください。

① 左の絵を、はさみで切り取りましょう。

1. 文章に合う順番にならべかえて、文章の下のわくに置きましょう。

2. 絵の中の□に、文章に合う段落の番号を書きましょう。

★正しい順番を置けて正しいかを確認してかぎ、子どもたちの平等を貼らせることに取り組むこと。

② 「さまざまな人々」の例を、文の中から四つめき出して書きましょう。

小さい子ども

お年寄り

けがをしている人

目や耳が不自由な人

★「お年寄り」「小さい子ども」

★1段落目に着目しましょう。

③ □に入る言葉の組み合わせを選んで、一つに○をつけましょう。

○ ア たとえば ・ イ これは

○ ア そのうえ ・ イ しかし

○ ア それから ・ イ けれど

④ 文章の内容に合っている文に○、合っていない文に×をつけましょう。

○ × ユニバーサルデザインは、環境を守るために工夫されている。

○ ○ スロープは、車いすを使う人だけでなく、お年寄りも楽に通れる。

○ × ユニバーサルデザインのために、町の中から階段をなくすとよい。

○ × ユニバーサルデザインは、特定の人のためにデザインされている。

○ ○ ぎざぎざがついたシャンプーのボトルは、だれにとっても使いやすい。

⑤ ユニバーサルデザインを工夫することで、どんな社会になっていきますか。

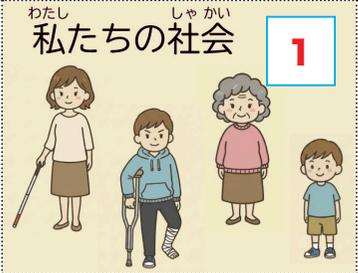
文章の内容に合うものを一つ選んで、○をつけましょう。

★5段落目に、この文章のまとめが書いてあります。

○ () 目や耳の不自由な人だけが安心して暮らせる社会。

○ () みんなが気持ちよく生活できて、思いやりのある社会。

○ () さまざまな人々が、コミュニケーションしやすい社会。



わたしたちの社会



切り取りパズル式 読解プリント⑤ 〈文章〉

なまえ

★ つぎの文章を読んで、問題に答えましょう。

1 今の日本では、昔に比べ、「核家族」とよばれる家族の形が一般的になっていきます。核家族とは、お父さんやお母さんと子どもだけで暮らす家族や、夫婦だけで暮らす家族のことです。

2 昔の日本では、おじいさんやおばあさんもいっしょに暮らす大家族が一般的でした。子どもも、一人や二人ではなく、大勢いる場合があります。今は、一家庭あたりの子どもの数も少なくなってきました。

3 核家族では、大家族に比べて家の中の仕事をする人が少ないので、家族みんなで力を合わせることが大切です。家の中には、ごはんを作る、洗たくをする、そうじをするなど、毎日行う家事がたくさんあります。子どもが、それらの家事の手伝いをする、家族みんなの助けになります。

4 子どもができる手伝いには、どのようなものがあるでしょうか。ア、食事の前にお皿をならべたり、洗たく物をつたたりすることができず。毎日このような手伝いをしてると、ごはんの準備には手間や時間がかかることや、洗たくは、洗濯機が全部やってくれるわけではないことなどに気づきます。①、家事の大変さがわかり、家族への感謝の気持ちが強くなります。

5 核家族の中では、一人一人ができることを考えて、自分から行動することが大切です。それを続けることで、家の中が、家族みんなが気持ちよく過ごせる、あたたかい場所になっていくのです。

※ 一般的…特別なことではなく、広く当てはまるようすのこと。





切り取りパズル式 読解プリント ⑤ 〈問題〉

なまえ

★は、指導者向けの解説です。答え合わせのときの指導の参考にしてください。

① 左の絵を、はさみで切り取りましょう。

1. 文章に合う順番にならばかえて、文章の下のわくに置きましょう。

2. 絵の中の□に、文章に合う段落の番号を書きましょう。

★正しい順番を置けて正しいことを確認してから、子ども同士の等貼ひせるとよいですよ。

② 「それらの家事」の例を、文の中から三つぬき出して書きましょう。

★3段落目に着目しましょう。

ごはんを作る

洗たくをする

そうじをする

★「洗たく」でも○

★「そうじ」でも○

③ ア イ に入る言葉の組み合わせを選んで、一つに○をつけましょう。

ア それから

イ そんな

○ たとえば

イ すると

ア けれども

イ あんな

④ 文章の内容に合っている文に○、合っていない文に×をつけましょう。

× おじいさんやおばあさんといっしょに暮らす核家族が減っている。

× 家事をする人が減ったので、核家族が一般的になった。

○ 子どもが家事の手伝いをする、家族みんなの助けになる。

○ 毎日手伝いをしていると、家事の大変さがわかるようになる。

× 家事は、家族のためにするものなので、お母さんだけがやればよい。

⑤ 家の中をあなたがたがい場所にするためには、どのように行動することが大切です。文章の内容に合うものを一つ選んで、○をつけましょう。

★5段落目に、この文章のまとめが書いてあります。

エアコンを使って、部屋の温度を一定に保つようにする。

一人一人ができることを考えて、自分から行動する。

おじいさんやおばあさんといっしょに暮らし、家事をみんなでやる。

★このページの「あなたがい場所」は、温度をはかると、暑いやじがあるおみかみのことです。

